



# 鴻巣西中通信

学校だより No.2

学校教育目標 「心豊かで たくましい 西中生」

公式ホームページ <https://konishi-j-konosu.edumap.jp/>

鴻巣市立鴻巣西中学校

鴻巣市大間1161番地

令和7年4月30日

「ええやん！」と思うこと

校長 三杉 紀文

早いもので、新学期がスタートして1ヶ月になろうとしています。学校では、専門委員会や係・当番など新しい学級組織作りが終わり、時間割による授業や1年生の部活動本入部も始まりました。

さて、私個人も本校に着任して1ヶ月になります。この1ヶ月間で、私は驚かされたことがいくつもあります。

まず、4月1日、初めて本校へ着任した日。何と朝から、生徒たちに新入職員歓迎会を行っていただきました。生徒会の誘導で、私をはじめ今年度からの新入職員が体育館へ行くと、部活動のために登校していた生徒たちが体育館に集まっていて、校歌を歌うなど私たち新入職員を温かく迎えてくれました。本校では恒例の取組だったのかもしれませんが、私自身は4月1日から、このような歓迎会で迎えていただいたことは初めての経験でしたので、とても驚かされました。

また、「全校体育」の取組も印象的でした。本格的に体育の授業の始まる前に、体育の授業時の準備体操や補強運動などのやり方を、3年生が手本となって1年生に教えるというものです。教える3年生は3年生のプライドにかけて、声を張り、キビキビと動きます。3年生にその姿を目の前で見せられ、1年生もそれに追いつこうと声を出し、素早く動こうと必死になります。一人一人が真剣に取り組むことで、1時間の中で見る見る間に1年生の声の出し方や動きが変わっていきます。

同様に体育的活動としては、来月の体育祭に向けて、「西中PRIDEソーラン」のソーラン隊長オーディションというのも私にとっては初めてのものでした。全員が立候補者というだけあって、生徒たちの一途な想い、前向きなエネルギー、熱がヒシヒシと伝わってきました。これからこの熱さをもった隊長たちが中心になって練習されていく

「西中PRIDEソーラン」が、どんな仕上がりになるのかとても楽しみに感じました。

さらに文化的活動では、吹奏楽部が地域の「風祭り」で演奏を披露しました。屋外演奏だったため、ホールのような音の反響は一切なく、おまけに夏日となって水分補給が欠かせない状況での演奏でしたが、元気に約1時間に渡る演奏を見事にやり切りました。演奏者にも楽しそうな表情が見られ、保護者や地域の方など100名以上は詰めかけていたと思われる観客と一体になって、大成功の演奏会だったと感じました。保護者や地域の方々のご支援に感謝致します。

このように、生徒たちがそれぞれの活動に一途に全力で取り組む姿、その熱量、それを支えて下さる保護者や地域の方々の方に、勇気をもらい、ありがたさを感じ、思わず「ええやん！」と本校のよさを感じています。

